

異なつた二者を一つに合わせるには、様々なしかたが可能である。「結ぶ」「混ぜる」など、いずれもその例であろう。のりを用いて「貼る」という方法も、私どもの祖先が見出した優れた技術の一つであった。

「結ぶ」ということが、異質性を目立たせたまま一時的ながりを保たせる方法であるとすれば、「混ぜる」は、各々の独自性を抑えて共存させる。これらに比して、「貼る」は、お互いがお互いにありつつも、いか分かち難く一つになり、継ぎ目もなくつながり合つてしまふ、と言う特性を持つてゐる。「結ぶ」の直載さ・力強さ、「混ぜる」の親しさ・温かさにくらべて、「貼る」には、控え目な行儀のよさがある。

結ばれたものは、ほどけば速かもとの二者に分かれる。一方、混せられたもの

のは、容易に旧には復さない。これらに對して、貼ることは、丁度中間に位置するのではないか。何故なら、伝統的な「のり貼り」は、密着するまでに時間を必要とするが、乾いてしまうとびたりときもなく重なり合う。それでいて、再び湿気を含ませ、時間をかけてゆくつりとはがすなら、お互いを傷つけ合うことなく、独立の二者に分かれることも可能なだから。

幼児の教育 第七十七卷第六号

六月号 ◎ 定価二二〇円

昭和五十三年五月二十五日 印刷

昭和五十三年六月一日 発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼　津　守　眞

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所　日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ一ニノ一

印刷所　図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所　株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九一九六四〇番

○本誌御購読についての御注文は発売所フレーベル館にお願いいたします

※万一製品不良本がございましたら、おとりかえいたします。